

第2分科会:大学教育の質的転換を図るための ICT 活用を考える

担当委員	土肥順一（京都産業大学）、久保田学（早稲田大学）、川崎安子（武庫川女子大学）、 斎藤真左樹（日本福祉大学）
趣旨	<p>学生がみずから主体的に考える力を育成するため、教授法の抜本的改善が求められている。例えば、対話型授業や協調学習、教室外の自学自習、科目間連携や学修成果の組織的検証などである。これを効率化、経済化する上で e ラーニングやソーシャルメディア（“Twitter” や “Facebook” 等）、モバイルツール（クリッカーやスマートホン等）への期待は大きい。</p> <p>本分科会では、まず、教育の質的転換を図ることを狙いとした新たな教授法やその動向について情報交換、意見交換等を行う。続いて、それぞれの ICT ツールが持つ教育的な有用性を整理し、これらを導入・運用するにあたっての課題や教育の質的転換を支える職員の役割について考える。</p>
討議テーマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生を主体的な学び手に変革するための ICT 活用の動向 2. e ラーニングやソーシャルメディアなど ICT ツールの特性（教育効果と運用面での課題） 3. ICT を活用した教育の質的転換を推進する際に求められる職員の役割
獲得目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学教育における ICT ツールの有効性について理解を深める ・ 大学教育の質的転換を図るために期待される職員の役割について認識する
事例紹介	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「対話型、問題発見・解決型教育」への移行を実現する ICT 活用モデル構築に向けた取り組み（教職協働による教育の質向上を目指して） 永間広宣氏（早稲田大学遠隔教育センター事務長） 大前研二氏（早稲田大学メディアネットワークセンターマネージャー） 2. 組織的な e-Learning を活用した教職協働による教育改革のヒント 斎藤真左樹氏（日本福祉大学大学事務局長）
全体進行	<p>10:45～10:50 オリエンテーション</p> <p>10:50～11:40 事例紹介 1</p> <p>11:40～12:00 グループ討議 ・ 事例紹介に対する意見交換</p> <p>12:00～13:00 昼食</p> <p>13:00～13:55 グループ討議 ・ 事例紹介に対する意見交換（続き） ・ グループ内各校における事例の紹介</p> <p>13:55～14:10 相互発表 ・ 事例紹介について出された意見の相互発表 ・ グループ内各校における事例の相互発表</p> <p>14:10～15:00 事例紹介 2</p> <p>15:00～15:15 休憩</p> <p>15:15～16:30 グループ討議 ・ 事例紹介に対する意見交換 ・ 大学教育の質的転換を図るために期待される職員の役割について</p> <p>16:30～16:45 相互発表 ・ 事例紹介について出された意見の相互発表 ・ 期待される職員の役割について出された意見の相互発表</p> <p>16:45～17:00 アンケート記入</p>
事前研修	<p>メーリングリストを利用して下記の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介を兼ねて、分科会に対する期待や要望を投稿する <ul style="list-style-type: none"> ・ 氏名、大学名、所属（役職を含む） ・ 担当業務の内容、在職年数および現所属在職年数 ・ 参加の目的 ・ 自大学における教育用 ICT の活用状況と課題 ・ 討議希望テーマとその理由、背景など ・ 運営委員からの情報提供（事例紹介の概要や分科会の運営について等）
事後研修	<p>メーリングリストを利用して下記の取組を行う。なお、メーリングリストは、引き続き自由な情報交換の場としても活用いただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修後の意識の変化や自大学での課題と解決策等について投稿する ・ 他者の投稿に対してコメントする